

「サロンつばさ」(喫茶)は、2019年4月で2年目を迎えました。福島育成園の食堂にて、毎月第4土曜日の14時から16時まで開催しています。メニューは、コーヒー、紅茶、ジュースが100円です。また、福島育成園の手作りのクッキーも100円で販売しています。参加については、地域の皆様、福島育成園の入所、通所をご利用の皆様、障がいのある、無しにかかわらず、どなたでもお越しいただけます。

〈ヘルマンハーブ演奏会〉



昨年度は、4月に障がい当事者の皆さんで活動されている「ドリーム」の歌と楽器の演奏会、10月にはヘルマンハーブ演奏会、12月には音楽ふれあいグループ「きらっと」さんによるハンドベル演奏会を開催しました。当日は地域の方と福島育成園の方で満席となり、和やかで楽しい時間を過ごすことができました。

演奏会のない月は、ゆったりとした雰囲気となっています。「明日、サロンやな」とお声掛けをいただくことがあり、参加することを楽しみにしてくださっていると感じる時は、開催して良かったと本当に嬉しく思います。

〈サロンでの談話風景〉



また、毎回開催時には、ボランティアの皆さんにご協力をいただいています。イベントの際には、福島区内の他のサロンの方もお手伝いに来てくださいます。少しずつですが、他のサロンの方々との繋がりも増えました。地域の皆様に支えていただいて、ここまで開催できましたことを心から感謝しております。

月に1度の開催ですが「サロンつばさ」が皆様の憩いの場として継続できるよう、努力していきたいと思っております。これからも「サロンつばさ」をどうぞよろしくお願いいたします。

次回は、6月22日土曜日14時から16時に開催いたします。(福島育成園 食堂にて)

“ちょっとした相談”もできる「サロンつばさ」になればいいなあと思ひながら…皆様との出逢いをお待ちしております。

「小泉理事長を囲む会」を開催しました
東成育成園支部 支部長 寺田 優子

5月22日(水)保護者会定例会に小泉理事長をお迎えして、「将来の生活を見越して親が今から準備できること」をテーマにお話しいただきました。

保護者として、高齢化に向け具体的にやることについては、まず、将来の生活の基盤を考えることが大切で、例えば生活費やどんな環境の生活の場にしたいか、本人はもちろんのこと、家族でもイメージを考えて話し合うことが必要とのことでした。

私は現時点では、まだ兄弟に負担をかけないように話し合ひはしていません。ですが、無理のない範囲で親亡き後に信頼できる助け手の一人となってもらえるように親の考えを話すことは大切だと思いました。

又、形にはこだわらず、可能な限り本人の生活習慣に合うような環境を整えることも大事で、成年後見など親亡き後に本人に成り代わって手続きや財産の管理を行うことをきちんと決めておくことや、その一人一人で全てを見るということは難しいので、支援者や医療、行政、地域など支援のネットワークを構築しておくことも大切とのことでした。

そして将来の生活を見越して親が今から準備できることについては、どんなことも選択できるように情報を取り入れ、好奇心を持って見学や学習会などに参加しておけば、全てが役にたつことでなくても、色々比較する事ができるとのことでした。私は勉強会で得る情報が殆どなので、今後も参加しようと思います。

最後に、できるだけ子どもと一緒に過ごして、支援者の方に親から伝えたいことを情報として記録しておくことも大切とのことでした。親亡き後の「ノート作成」にはわが子が困らないように、子どもの意思が伝わるように記録しようと思います。

親の高齢化にともない子どもの将来に不安な気持ちを抱えていることもあり、今回の内容は親が動かないと先へ進めないことを改めて痛感しました。

「チャンスとタイミングを逃さず、何事にも好奇心を持って挑戦し、失敗を恐れなくて」と小泉理事長の力強いお言葉で各自背中を押して頂けたと思います。

最後になりましたが、小泉理事長にはお忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。